顧客の課題解決提案

○…日興商会…○

3年振りにフェア開催

株式会社日興商会（藤縄修平社長、尼崎市）は、2月8、9日、尼崎のあましんアルカイックホールオクト、都ホテル尼崎、尼崎中小企業センター、尼崎市総合文化センターの4会場を使用して、「働く人がイキイキ！『未来につなげるオフィス創りへチャレンジ』をテーマに、オフィス創りの実感・体感フェア「第55回NIKKOフェア」を、3年振りに開催、2800人が来場した。

初日午前8時30分から全体朝礼が山川武司実行委員長の司会で進め、藤縄社長は、3年振りの開催となるフェアを明るく賑やかな雰囲気でスタートしたいと、開催を決めた半年前に考えた、「NIKKOフェアが3年振りに帰ってまいりました」のフレーズとパフォーマンスで会場を沸かせ、参列した出展社から拍手喝さいを浴びた。続けて、「昨日事前視察を行い、素晴らしい会場ができたことに感動して、さあやるぞと武者震いした。事業環境の変化に対応した営業スタイルの構築が急務であり、モノ売りからコト売りへ、課題解決型の企業へと転換を進める中で、自社の変化や変革を体現する会場づくりに工夫した。休止の期間に、フェアへの想いを新たにした。お客様に喜んでもらおっと笑顔で接遇している社員や出展社の姿があるNIKKOフェアは、フェイスtoフェイスの営業を大切にする弊社の理念を体現する場そのものだ。この2日間、マスク越しだが笑顔があふれる展示会としていきたい」と挨拶。

続いて、出展社を代表してコクヨ・黒田英邦社長が「このフェアは業界の集大成のイベントとしてとらえている。コロナによって業界は大きく変化した。働き方が変わり、消耗品はダウントレンドが続いている。環境の変化の中で、我々はどのようにしてチャンスをつかむのか。変化を受け身で捉えるのではなく、自ら変化を創りだしていかなければならない。オフィス関連商材は数多くの企業で構成されている稀有な業界であり、業界ぐるみで盛り上げたい。フェアは顧客に新しい価値を伝えることができる、またとない機会であり、皆さんと力を合わせて、新しい変化を伝えていきたい」と挨拶。

祝電披露の後、尼崎えびす神社神主が安全・成功祈願祭を執り行い開場した。

メイン会場のオクト、ホテル3階と2階、尼崎中小企業センターに約80社が出展、テーマに沿って、顧客が抱える課題解決につながる商品・サービスを多彩に展示。

オクト会場では、エントランスフロアに顧客視点で課題を解決する「シンゴトバコンシェルジュ」としての営業活動を、漫画を使って分かりやすくアピール。NIKKOプロモーションでは、空間ソリューション、DX推進化サポート、オフィス通販、新たなソリューションメニューに加えたオフィスエアコンクリーニング、LED照明、文具リユースなどを紹介。空間ソリューションでは、コクヨとキヤノンマーケティングジャパンが効率的な書類整理の仕方を紙ベースとデジタルで提案した。LED照明ではライオン事務器が取り扱いを開始した、コロナウイルスや細菌を不活性化する「除菌LED照明」を紹介。

会場では、「見て・触って・確かめる」を展示コンセプトに、具体的にオフィスで使用するイメージができる会場づくりにも力を入れ、文具でできる日々の作業改善から、オフィス家具やITなどを活用した業務改革まで、オフィス環境のトレンドを紹介。

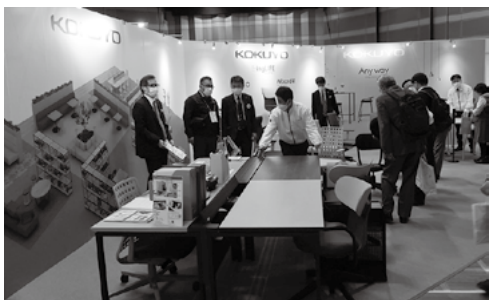
ビジネスセミナーは関心の高いファイリングやインボイス制度、電帳法などをテーマに8セミナーを開催。とりわけインボイスや電帳法への関心は高く、セミナーの定員数を2倍に増やした。また、地域住民に親しまれている即売会は感染対策の観点から取りやめ、展示会場として展開、メーカーブースのほか、環境コーナーや印刷工場のブースを設けた。

記者会見で藤縄社長は「事業の柱としてきた消耗品がコロナの影響を受けるなど、我々のビジネス環境は大きく変わった。IT、オフィス空間関連への関心は高く、今後の成長が見込める。時代の変化に対応した営業スタイルの構築が急務。これまでの収益事業から脱却して、ビジネスモデルを変革するにはモノ売りからコト売りへ、コンサルティングに軸足を置いた営業モデルへの転換が必要。お客様に寄り添う『仕事場コンシェルジュ』として、お客様がやりたいこと、困りごとを、お客様視点でサポートして、課題を解決していく。このフェアからリスタートとし、社内外に変革へのチャレンジを伝えていきたい」と語った。

新規事業のオフィスクリーニングは、ダスキンのフランチャイズチェーン加盟店として、資格取得した社員がエアコンクリーニングや室内抗菌加工サービスを行う。営業地域は当面は阪神間。藤縄社長は新規事業を模索する中で、以前から衛生事業を構想していた、という。

集客面について、山川実行委員長は「コロナ禍により、事前予約制での開催とし、遠方客のためのバスも取りやめた。ウェブの事前申込は約2500人で、従来通り直接会場に来られる方も多くあると思うので、柔軟に対応していきたい」と語った。

出展社代表との記念撮影


変化するオフィスづくりを提案

人から人へ心を伝える
ハート紙製品
ハート株式会社

挨拶する藤縄社長

挨拶するコクヨ・黒田社長

11月15日（いいインコ）は
「いいインコの日」
sedia
since 1932
www.sedia.co.jp

団体役員で清水智氏が受賞

商工関係者表彰

大阪府は、2月13日午後2時から、北区の大阪市中央公会堂で、商工業の振興発展に功績のあった個人、若しくは団体を表彰する令和4年度「大阪府商工関係者表彰」を開催した。

今年度の受賞者は、団体役員116人、団体職員28人、従業員58人、6事業所、2団体。このほか、大阪ものづくり優良企業、大阪製ブランド2022受賞企業を表彰した。

表彰式は大阪府の山口副知事が「今日の受賞者はそれぞれの分野で長年にわたり、業界の発展、大阪の産業の振興に取り組んできた。この表彰は府内の商工関係者の意識の向上と商工業の振興、発展に尽くした功績を称えるもの」と祝辞を贈った。

業界関係の受賞者は次の通り。敬称略。

【団体役員】清水智（大阪文具事務用品協同組合理事）

【従業員】小川一富（シード）、川﨑靖二（LIHIT LAB.）、小谷和裕（LIHIT LAB.）、山中千恵子（サクラクレパス）

受賞した清水智氏

文房具屋さん大賞

大賞にパイロット「いろうつし」

今年で11年目を迎える「文房具屋さん大賞2023」が発表され、ノミネートアイテム総数約1600点の中から大賞に、つけペンタイプの筆記具「いろうつし」（パイロットコーポレーション）が受賞した。

今回も、全国の有力販売店12社が集結し、各メーカーからノミネートされた、この1年に発売された新作文房具を「最も価値のある文房具」という視点から、プロの目利きでジャッジした。

大賞の他、デザイン賞には、こすると色が変わるペン「イルミリー カラー トゥーカラー」（パイロットコーポレーション）、機能賞にはルーズリーフの困りごとを解決した「キャンパス ルーズリーフ」（コクヨ）、アイデア賞には、ミルキーインキの筆ペン「ミルキーブラッシュ」（ぺんてる）が受賞。

「書く」「消す」「収納」「伝える」などの「部門賞」の受賞商品は次の通り。

ボールペン賞＝フリクションボール ノックゾーン（パイロットコーポレーション）、シャープペン賞＝「オレンズ AT デュアルグリップタイプ」（ぺんてる）、多機能ペン賞＝レグノ2＋1（パイロットコーポレーション）、万年筆賞＝「カスタム742シグネチャー」（パイロットコーポレーション）、カラーペン賞＝「ドット・エ・ペン」（サンスター文具）、消しゴム賞＝「モノポケット」（トンボ鉛筆）、筆箱賞＝「ポーズ ペンポーチ」（キングジム）、卓上収納賞＝「さっと出し入れできる 壁掛けポケット」（コクヨ）、ポーチ&バッグ賞＝「ホルポ ごみ箱ポーチ」（キングジム）、ファイル賞＝「キャンパス インデックスで開けやすいバインダー」（コクヨ）、ふせん賞＝「はがせるマーカー」（カンミ堂）、レター賞＝「シーリングワックスレター」（マルアイ）、メモ賞＝「スタイルブックマーカー」（ラコニック）、ノート賞＝「ルーズリーフミニ マートレビュー要点チェック罫、単語罫、暗記シート」（マルマン）、手帳賞＝「スーファ ダイアリー2023」（コクヨ）、マスキングテープ賞＝「いろを楽しむ透明テープ」（グリーンフラッシュ）、テープ賞＝「ナイスタック 透明プラスチック用小巻」（ニチバン）、シール賞＝「ハラペコ喫茶 透明シールシート」（古川紙工）、ハサミ賞＝「高級ハサミ ハサ」（コクヨ）、カッター賞＝「シュット」（サンスター文具）

「文房具屋さん大賞2023」公式本は扶桑社から2月13日に発売された。

大賞の「いろうつし」

一行印0560号 メールオーダー式
標準小売価格 ¥1,980（税抜価格¥1,800）
Shachihata

MITSUBISHI PENCIL CO., LTD.